

# 1ねんせいのみなさんへ

おうちのひとといっしょによんでね

## 規則正しい生活をしよう

大型連休に入りますが、ひきつづき早寝、早起き、朝ごはんを意識して生活しましょう。平日の午前中は学校の時間を気にしながらすごしてみてください。

学校の授業中は、自分のことが終わってもすぐに次の活動にうつれるわけではありません。決まった時間の中で、「もっとよくなるか」「もっといい考えはないか」「違う考え方はできないか」「わかりやすく説明するにはどうしたらいいか」などを考えながら待っている時間もあります。

逆に、終わっていなくても次に進まなければいけないこともあります。もっとやりたいことがあっても、次の時間になってしまうので、そこで諦めたり、別の時間に続きをやったりすることが必要になります。

時間を意識する、ということは難しいですね。



## 学習タイムの参考にしてください

※先週紹介した活動も引き続き行うことができます。今週の活動も合わせて、1年生の学習の基礎になる力をつけられる活動です。臨時休校中だけでなく、取り組んでいただけるとより力になります。

こくご

### ○ひらがな、カタカナで遊ぼう。

別のファイルにひらがなカードとカタカナカードをつけています。

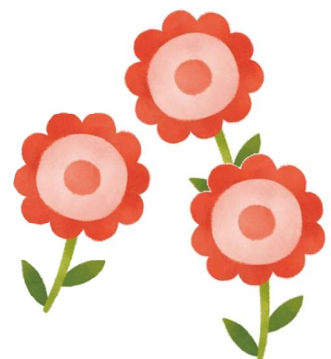
印刷してカードにして使います。印刷が難しい場合はカードに手書きで書いてあげてもいいです。

<やり方1> あいうえお表の順番にならべてみよう。

カタカナでもできるかな。

<やり方2> 言葉をつくってみよう。

いくつの言葉をつくれるかな。



- <やり方3> 神経衰弱をしてみよう。(ひらがなとカタカナを合わせる)  
 全部のカードでやると多くて大変かもしれません。まずはあ行など、数をへらすといいですね。
- <やり方4> にている文字をさがしてみよう。  
 どこが似ていると思ったのか、言葉で説明してみよう。

ひらがなに比べてカタカナはなかなか定着しません。  
 中学年になってもカタカナが…ということもよくあります。  
 楽しみながらカタカナに触れられるといいですね。

○いろいろなクイズに挑戦しよう。(はじめは大人が問題を出してあげてください)

☆3ヒントクイズ

<やり方> 身の回りにあるものを3つのヒントで説明します。なんのことかわかってもらえれば成功です。

例えば…

- ヒント1 数字がきれいにならんでいます。  
 ヒント2 ときどき、青や赤の文字がでてきます。  
 ヒント3 かべにかざってあります。

こたえ カレンダー

- ※だんだん答えに近づけるようにヒントを出せるといいですね。  
 ※ヒント1で答えがわかってしまうとおもしろくないですね。

☆想像生き物クイズ(生き物でなくてもいいですね)

<やり方> 答えの生き物をきめます。

「はい」「いいえ」「わかりません」で答えられる質問をして答えをあててください。慣れてきたら質問の数を制限することもできます。

例えば…

- |    |              |       |
|----|--------------|-------|
| 質問 | 大きいですか?      | 「はい」  |
| 質問 | 水の中の生き物ですか?  | 「いいえ」 |
| 質問 | はしるのははやいですか? | 「いいえ」 |
| 質問 | 耳は大きいですか?    | 「はい」  |
| 質問 | 鼻が長いですか?     | 「はい」  |

こたえ ぞう



- ✕質問 どんなものをたべますか? →「はい」「いいえ」でこたえられない  
 ✕質問 うさぎですか? きりんですか? →当てずっぽうはだめです

特徴を思い浮かべて答えを限定するのに必要な情報を選ぶ力を育てます。  
 3ヒントクイズを子どもが作る時には、ヒントを3つ使って当てられることが成功だと伝えてあげてください、

## さんすう

### ○数で遊ぼう

別のファイルに数字カードをつけています。(ひらがなと一緒に入っています)  
印刷してカードにして使います。印刷が難しい場合はカードに手書きで書いてあげてもいいです。

#### <活動> じゃんけんゲームをしよう。(2人以上でやります)

はじめに「10」を1まいと「1」を5まいもちます。

両替用に「1」を20まい用意しておきます。

じゃんけんをします。勝ったら相手からカードをもらえます。

《グーで勝ったら1 チョキで勝ったら2 パーで勝ったら3》  
渡せなくなったら10をばらに「両替」します。

相手が「おつり」を渡しても構いません。

どちらかの手持ちがなくなったら終わりです。

※はじめの数は変えてもいいです。

※両替やおつりの場面が学習のチャンス！自分で正しくできるよう、見守りと声かけをおねがいします。

(「はい、これ。」と渡してしまうことのないように…)

#### <活動> 家の中の数をさがそう

家の中に1つあるもの 2つあるもの 3つあるもの…を探していきます。  
10くらいまで探せるといいです。

※見つけた時に単位を教えてあげられるといいですね。

(車だったら1台 ノートや本は1冊 鉛筆は1本など)

おまけ…

ひらがな、かたかな、数字カードはまっすぐ切っていけば作れるので、お子さんでも切ることができます。  
線に合わせてはさみで切る練習にもなります。(数が多いので全部自分でやろうとすると途中で飽きてしまうかもしれませんが…)

どうすれば早く切れるかな？ どうすればきれいに切れるかな？ と考えることも大切です。うまくできたら(うまくできたところがあったら)たくさんほめて、困っていたらアドバイスをしてあげてください。